

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録(要旨)

開催日時 令和元年7月 25 日(木)
 開催会場 日知屋公民館 参加者数 35 名

発言内容	回答者	回答内容
<p>細島小学校や日知屋東小学校、日知屋小学校、富島中学校、体育センターなどは、雨漏りや電灯切れ、水溜りなどが発生しているのを速やかに補修していただきたい。</p>	市長	<p>体育館の補修等は、これまで行き届いていなかった。電灯を交換する際は、足場を組む必要があるため時間がかかる。床等も補修していかなければならない。ご指摘は一例だと思うが、早急に対応すべきところは、教育委員会にも確認しながら対応していきたい。</p> <p>※細島小学校及び日知屋小学校の体育館照明器具については、9月にLED照明へ取替を行った。日知屋東小学校の水溜りについては、排水路のつまりによるもので9月に対応済み。富島中学校の雨漏りについては、本年12月までに対応予定である。</p> <p>日向市体育センターについては、現在、総合体育館の整備に向けた検討が進められており、それまでは応急的に対応することとしている。</p>
<p>経費削減のしわ寄せが区長に来ている。広報紙の配布に1世帯当たり年間1,500円をもらっている。この金額は、平成12年から今日まで据え置きの状態。公務員の給与は上がっているのになぜ金額を上げないのか。各課がイベントのたびにチラシを入れるので配布物も増えており、区長の負担が増している。</p>	総合政策部長	<p>区長さん方には感謝を申し上げます。金額については、平成12年に区公連の役員と協議をして決めたものと思われる。職員に対しては、市の広報に掲載できるものについては、広報で周知するよう伝えている。突発的なイベントなどについては別途配布しているが、これも役員に相談し了解をいただいている。ニーズが多様化し、行政で対応できない部分に手助けを求める場面が増えていく。申し訳ないが協力をお願いしたい。</p>
<p>職員は少しも勉強していないし怠慢である。必要などころに必要なだけ情報を流せばいいのに、たくさんチラシを作って、無料だからと区長に配付を依頼する。印刷代と人件費の無駄である。また、同じような依頼が各課から別々に区長のところに来る。本当に地区の事を考えて行っているのか。</p>	市長	<p>多種多様なニーズに対応するために、市も色んなことをやらなければならない。そのため、地域の皆さまにお願いしすることも増えている。配布物の量が増えていることも理解している。区長さん方に甘えているわけではないが、行財政改革を進めながら、行政がやるべきことをやっていきたい。今後も、いろんな意見を賜りたい。</p>
<p>仕事の担い手について。企業誘致で雇用が増えたという報告があったが、雇用の面では人手不足の局面にある。労働者の取り合いが行われている。労働者不足に対して市が取り組んでいることを教えてほしい。</p>	市長	<p>大学進学等で日向から出て行った若者が就労などで帰って来られる街にしたいと思っている。キャリア教育を進めているが、保護者と生徒に対する情報発信が必要である。例えば、中学2年生(保護者)に市内の企業を知ってもらうため、教育教材を渡している(企業で働く人のコメントを掲載した企業紹介の冊子)。今後は、外国の方が増えてくる。地元で働く人たちを育てていきたい。</p>

発言内容	回答者	回答内容
<p>長期的な取組は理解した。短期的な労働者不足対策はあるか。</p>	<p>市長</p>	<p>短期的な特効薬は難しい。お盆に就職説明会等を予定している。日向市で働きたい移住者も増えてきているので企業紹介をしている。情報発信を続けていきたい。</p>
	<p>総合政策部長</p>	<p>宮崎県が6月県議会で30億円の「県人口減対策基金」を創設した。この事業は、国が主導する取り組みで、東京圏一極集中への対策として、東京圏から移住して県が指定する企業に就職した場合に最大100万円を支援（国・県・市）するもの。今後周知していく。</p> <p>※市は移住支援金に関する要綱を作成中。10月中には市HP等を活用して周知を図っていく予定。</p>
<p>南海トラフ地震に備えて下校途中の児童を対象に地域で避難訓練を行っているが、ほとんど小学生の参加がない。防災推進課若しくは教育委員会から学校を通じて、児童に地域の避難訓練に参加するように呼び掛けができないか。</p>	<p>市長</p>	<p>自分の命を自分で守るのが第一。学校を通じて情報を出すことはできると思うが、情報を受け取った側をどう啓発するか。子どもたちは学校でも訓練しているので行動に移すことができるが、保護者にも意識してもらう必要がある。自分の身は自分で守るという意識づけが重要だと思う。</p>
	<p>教育部長</p>	<p>コミュニティスクールの活性化をどうしていくかを考えている。次年度の予算要求の時期でもあり、それぞれの地域が特色ある取り組みをした時に、教育委員会から支援ができないか考えている。</p>
<p>永江区には、4か所の指定緊急避難場所がある。公共施設には備蓄があるが、民間所有の場所には備蓄がない。石丸会館は500人ほど収容可能。今後備蓄を検討していただきたい。</p>	<p>総務部長</p>	<p>一昨年度に備蓄計画を作り、これから4年ほどかけて計画通り備蓄していく。公的など以外についても協力が得られれば、備蓄計画の中で取り組めないかと考えたところ。かさばる物が多いので、保存について理解を得られるところについては、検討していきたい。</p>
<p>細島の通りは都市計画上商業地になっているが、銀行もない商店もないのに、いつまで高い固定資産税を払わなければならないのか。</p>	<p>市長</p>	<p>人口減少など社会情勢が大きく変わった。回復は難しい状況。都市計画上の区域指定の変更には課題がある。次の見直しの機会までは変更の検討が難しい。</p>
<p>美々津公民館の入口看板の枠が古くなっている。今対応すれば、そんなに予算もかからないのではないか。日知屋城を発掘して埋蔵品が出ているので、展示する機会を考えてもらいたい。 (答弁不要)</p>		

座談会のようす

